

＜一般社団法人 佐賀県作業療法士会 運営会議 議事録＞

日時：平成24年9月4日（火）19：00～21：00

場所：アイスクエアビル 中会議室にて

出席：倉富会長、山口副会長、小池副会長、江渡、金子、川辺、原、上城、佐藤、村岡、米田、鶴田、
本山、熊谷（14名）

I. 報告事項

1. OT 協会関連

- 1) 第10回 OT 協会・県士会合同役職者研修会への派遣。（小池副会長より報告、別紙資料1参照）
・期日：7月28日・29日 日本工学院専門学校。小池副会長、江渡理事を派遣
- 2) 訪問リハ・地域リーダー研修会への派遣
・期日：9月6日・7日。米田地区担当委員を派遣
- 3) 福祉用具相談支援システムへの県士会からアドバイザーの推薦
・佐藤 崇事業部長、熊谷 隆史庶務部長、寺崎 司（白石共立病院）、大島 千澄（河畔病院）
泉 拓也（佐賀リハビリテーション病院）を推薦。佐藤事業部長をリーダーとする。今後、説明会などが開催予定。

2. 九州地区作業療法士関連

- 1) 九州 OT 士会長会議
・11月16日 長崎ブリックホール
①第34回（長崎）・第35回（熊本）合同学会進捗状況報告
- 2) 九州県士会長主催研修会
・H25年1月 大分県担当で開催予定 進捗状況報告
- 3) 九州士会長会における広報（啓発）活動の推進について
- 4) 災害対応 大雨による被害と対応 → 防災マニュアルの策定
3. 作業療法士の仕事に対する満足度調査
・8月30日現在 協力者78名 この段階で統計処理をしてみても後日結果を報告する。協力に感謝すると国際医療福祉大学福岡リハビリテーション学部 奈良先生より連絡あり。
4. 佐賀県精神障害者スポーツ大会（バレーボール大会）
・9月11日 佐賀市総合体育館。松籟病院、いぬお病院が参加。参加チームが少ない状況である。
5. 福岡県作業療法士会が公益社団法人取得。9月29日に記念式典開催。山口副会長参加。

II. 協議事項

1. 県士会関連

- 1) 作業療法啓発活動 9月9日（日）10時～16時。詳細は事業部報告にて。
- 2) 合同学会
・PT 小柳会長 9月には準備委員会を開催したい。会場を事前に予約したいとのこと。
・長崎学会への視察
- 3) 作業療法士の仕事に対する満足度調査のデータの使用について
・広報活動、学会発表、佐賀県学術誌（作業療法佐賀）への投稿など

Ⅲ. 各部局からの報告

1) 学術局（江渡学術局長より報告）

- ・現職者選択研修について、身障分野は金子教育部長、精神分野小池副会長、発達分野は江渡学術局長が担当する。
- ・九州作業療法士会会長会主催合同研修会は、平成 25 年 2 月に開催予定（11 月合同学会時に最終決定）。

2) 事務局（川辺事務局長より報告）

- ・会員は 386 名（9 月 4 日現在）。

3) 事業部（佐藤事業部長より報告）

- ・9 月 9 日（日）OT フェスタ 2012 開催。場所はイオン佐賀大和店催事場。運営スタッフは 43 名参加。うちわやパンフレットを 500 部用意している。その準備として 8 月 19 日に事業部会を実施。

4) 福利部（村岡福利部長より報告）

- ・現在、T シャツ 250 枚配布済み（会員）。

5) 地区担当部長より報告

- ・杵藤地区、東西松浦地区は懇親会実施。佐城地区も今後行う予定。鳥栖三神地区は 9 月 18 日に平成 24 年度県学会の反省会を行う予定。また 10 月 5 日に地区の懇親会を行う予定。

Ⅳ. その他

1) 機関紙編集委員会より

- ・作業療法佐賀の発行部数の検討。昨年度は創刊年であったため、会員、各施設長、各都道府県士会に発送を行ったが、今年度の発送はどうするのか。

⇒会員と各施設長、各都道府県士会（学術誌を送ってくる士会）に対して発送する。

⇒承認

次回の運営会議は、11 月 6 日（火）19：00 アイスクエアビルにて

別紙資料 1

第 10 回 協会・都道府県士会合同役職者研修会

1、研修会の目的：協会と都道府県士会が協会活動（長期計画）に基づき、各事業を推進し作業療法を発展させていくための諸活動の連携と情報の共有化の推進

2、開催日程：平成 24 年 7 月 28 日（土）～7 月 29 日（日）

3、開催場所：日本工学院専門学校（東京都大田区西蒲田 5-23-22）10 階 31001 教室

4、参加者：協会理事、監事、関連部署の委員長及び都道府県士会長もしくは役職者等

5、プログラム

【7 月 28 日（土）】

12：45～ 受付開始

13：20～ 開会挨拶（中村協会長）

13：30～14：50 制度改革の到達点と当面の課題

～改正障害者基本法並びに障害者総合支援法の概要、新障害者基本計画の策定に向けて～
（日本障害協議会 常務理事 藤井克徳氏）

※ 宮城県における住民死亡率と障害手帳取得者の死亡者数及び被災死亡率

- ・ 南三陸町、女川町では住民死亡率の 3～4 倍
- ・ 防災対策での障害者への対応、平時からの支援力が重要

※ 障害関連製作の水準を捕らえる 4 つのものさし

- ア、障害の無い市民の生活水準との比較
- イ、日本と同水準の経済力を持つ国々との比較
- ウ、過去の政策水準との比較
- エ、障害のある人個々のニーズとの比較

14：50～15：05 休憩

15：05～15：25 東日本大震災の復興支援（香山事務局次長）

- 1) これまでの報告と今年度の計画

15：25～16：15 生活行為向上マネジメントについて（土井事務局次長）

- 1) 事業の経過を含めての協会の考え方及び今後の方向性、戦略について
- 2) 現状報告

※ 生活行為向上支援としての居宅療養管理指導事業あり方検討事業

- ①入所施設における追跡検証事業（継続）
- ②通所リハビリ介入事例の追跡調査検証事業（継続）
- ③通所介護との連携事業（新規）
- ④訪問介護との連携による家事自立支援事業（新規）
- ⑤生活行為相談活動センター事業（長野県・茅野市）（新規）

※ 生活行為向上の支援における介護支援専門員と作業療法士との連携効果検証事業

- ①脳卒中モデル（医療機関から退院・在宅復帰される方）
- ②廃用モデル（居宅介護支援事業所・地域包括にインテークした廃用の方）

③認知症モデル（BPSD が認められる認知症外来を受診している方）

⇒「認知症初期集中支援チーム」のモデル事業との連携を視野に入れる

16：15～16：30 休憩

16：30～17：10 平成 23 年度作業療法推進活動パイロット事業の成果報告

1) 実践報告 ①京都府士会：「特別支援教育と作業療法 協働の糸口を探る」

②神奈川県士会：「神奈川県における ALS 者のコミュニケーション障害
に対する当事者、作業療法士、他の医療・福祉関連食
種からなる支援体制の実践」

17：10～17：40 WFOT 世界大会について（山根実行委員長、佐藤国際部長）

※ 発表演題登録期間 2012 年 12 月～2013 年 4 月

※ 抄録は英語と日本語の両方で登録 英語は 300 単語

※ PR の為にはどこにでも来ます

18：00～19：30 懇親会

【7 月 29 日（日）】

9：00～10：00 作業療法 5 ヶ年戦略の進捗状況と総括に向けて

1) 最終年度に向けての総括（中村協会長）

2) その他協会からの連絡事項

・精神科医療の機能分化と質の向上などに関する検討会

< 今後の方構成に関する意見の整理 > 平成 24 年 6 月 28 日

・今後の認知症施策の方向性について 平成 24 年 6 月 18 日

10：00～10：15 休憩

10：15～11：45 都道府県士会の組織力強化について

1) リーダー研修の成果と今後の課題（岩佐連絡協議会長）

・四国支部リーダー養成研修報告

2) 組織率の現状と取り組み

（進藤石川県士会）（古志大阪府士副会長）（川和和歌山県士会長）

※ 新入会員へのオリエンテーション（県士会での役割と協力依頼、各種申請、会費納入などの
事務手続きの説明）

※ 所属 OT 長の意識を高めてもらう

※ 「顔が見える関係」の維持

※

11：45～12：00 広報部の経過報告（谷広報部長）

1) 協会での取り組みの経過報告

12：00～12：10 閉会挨拶（岩佐連絡協議会長）

※会費未納により会員資格を喪失した者の会員継続にかかる特例措置について